



平成29年5月1日号 (No.175)

「言葉がけをしよう」

伊丹市立総合教育センター

所長 後藤 猛虎

学校園には、勉強や宿題をなかなか始められなかったり、遊びに夢中になって遊びを終わりにする事が出来なかったりなど、次の行動へ移るのに時間がかかり、気持ちの切り替えの苦手な子がいます。看護師で研究者の西川 勝さんのエピソードは、このような子どもへの対応に大きなヒントを与えてくれるものです。



それは次のような話です。認知症のために入所しているおばあさんが夕方になって突如、「もう私、帰らせていただくわ」と迫ってきたことがありました。西川さんは、一切彼女を説得しようとしなかったそうです。ただ彼女に向かってにっこりと微笑みます。しかし、彼女は微笑み返しはしてくれません。そのうち他の看護師さんが、「お食事ですよ」と声をかけました。まだ彼女は硬直しています。次に、他の患者さんの面会に来ていた家族が、「ご一緒にどうですか」と声をかけます。彼女の緊張が少しほぐれます。西川さんは、彼女の手を引いてゆっくり食卓に向かいます。すると、別のお年寄りが、「いいね、若い人に手をつないでもらって」と冷やかします。彼女は西川さんに体を寄せ、満更でもなさそうです。そのうち、「おまちどうさま」と彼女の前に夕食が配られます。「ありがとう」と言った表情はさっきまでのかたくなさはありません。でも、なかなか箸には手をつけません。「お醤油をもってきましょうか」という西川さんの言葉にも首を振ります。しかし、さっきまでの意を決したようなかたくなさは消え、ずいぶん落ち着いた様子です。西川さんが「そう、ゆっくり食べてね」と声をかけて立ち上がると、彼女は箸を持ち食事を取り始めたのです。

このように、いろいろな人のほんのささやかな言葉がけが積み重なっていくことで、一人では対応できなかったおばあさんのかたくなな気持ちが徐々にほぐれていくのです。これがパッチング・ケアです。学校には、気持ちの切り替えが苦手な子やこだわりの強い子がいます。そのような子には学級担任や支援員が一人で抱え込むのではなく、いろいろな人がつぎはぎの修繕をするように、何気ない声かけの小さなケア〔パッチング・ケア〕をすることで、頑なな心をほぐすことができるかもしれません。そんな場面に出会ったらいろいろな言葉がけをしてほしいものです。さて、どんな言葉がけがいいのだろう。

通常学級にいる 配慮を要する 子への対応

2.人間関係のこまった



相手の気持ちを読み取ることができず、トラブルになる

- カットになったときの対処を教える
 - カットになったときのためにクールダウンスペースを設定する
 - 問題が起こりそうな場面を予測し、ロールプレイで再現、その場に応じた行動を考え、練習する
- あったか言葉とチクチク言葉を教える
 - 「あったか言葉」…ありがとう、いいね、いっしょに遊ぼう など
 - 「チクチク言葉」…バカ、ダサイ、ちゃんとやれ など
- 少人数の人間関係づくりから始める
 - 2人組の無理のない関わりから、徐々に人数を多くし、人間関係づくりをする
 - 配慮のできる子や、優しく話ができる子から人間関係づくりをする
- ソーシャルスキルトレーニングをする
 - 相手の気持ちに気づかせる
 - とるべき行動を考えさせる
 - 自分の行動を振り返られたことを認め、ほめる

文部科学省の調査によれば、小・中学校の「通常学級に在籍する、学習面または行動面で著しい困難をしめすとされた児童生徒」の割合は、**約6.5%**であると報告されています。

40人学級で2、3人の割合で在籍していることになります。
児童生徒の現状を把握し、個々のケースにあわせた支援と対応をすることが大切です。

3.行事の

こまった

音楽会や発表会などのときに
大声を出したりパニックになっ
たりする

- 環境に慣れるように配慮する
 - 前年度や練習のビデオを用意し、繰り返し家で視聴してもらおう
- 「相性のよい子」や「配慮ができる子」をさりげなく近くに配置する
 - 安心できる友だちを近くに配置し、心の安定を図る
- そばについて支援する
 - パニックが起こった場合を予測し、教師が対応できるように、役割分担を決めておく
 - 場合によっては、養護教諭や専科の教師、保護者などにそばについてもらう
- 立ち位置を工夫する
 - 保護者の了解を得て、途中退出しても目立ちにくい場所にする
 - パニックを起こした場合は、事前に保護者の了解を得たうえで、列の後ろや舞台そでに連れ出して落ち着かせる
- パニックになったら強引に集団に連れ戻さない
 - 気持ちを十分に受け止めて落ち着くまで冷静に待ち、落ち着いたら一緒に状況を整理し、どうすべきだったかを考える



「通常学級に在籍する、学習面または行動面で著しい困難をしめすとされた児童生徒」のうち、著しい困難を示す分野の割合



自尊心を高め
困り感によりそう

4.生活面のこまった

こだわりが強く周りに合わせた行動ができない

- 行動を観察し、きっかけが何かをつかむ
 - こだわった行動が起こるきっかけが何かを明らかにし、授業中には原因となる刺激を取り除くようにする
- ルールを定着させるトレーニングをする
 - こだわった行動は授業中にしない、などのルールをつくる
 - 守ることができたときには、シールやはんこを使ってほめて評価する
- こだわりを受け入れ、特技として活用する
 - こだわりを否定せず、係活動などとして活用し、学級全員で認め合う



1.授業中のこまった

注意し続けることが難しく、学習に集中できない

- 授業中の約束を教室に掲示する
 - 「すわる」、「私語0」、「質問は手をあげて」など、約束をクラス全体で確認して掲示する
- 座席は窓側をさけ、一番前にする
 - ほかの刺激の影響を非常に受けやすい傾向があるので、できるだけ刺激の少ない席にする
- 視覚的な教材を用意するなどして、課題をわかりやすくする
 - 具体物を提示する
- 指示するものは1つにする
 - 一回に複数の指示では、混乱してしまい理解できない
- 指示は具体的にする
 - 「ちゃんとする」「まじめにする」「がんばる」などは抽象的で具体的な行動とは結びつかない
- できているときには、わかりやすくほめる
 - 落ち着いて学習できているときには、大げさなくらい明確にはっきりとほめることが大切

授業力向上 (カリキュラム) 支援センター

カリキュラムセンターでは、講座やセミナーを開催しています。
事前申し込み不要なので、当日カリセンにお越しください。

● カリセンミニ講座

若手教員の授業力や学級経営力向上をめざす

- ◆ 保育・授業参観、家庭訪問、学級懇談
- ◆ 教材研究、発問
- ◆ 園児・児童理解、保護者対応
- ◆ 通知表
- ◆ 学級経営、行事
- ◆ 子どものほめ方、指示の出し方 など

● 臨時講師等対象セミナー

臨時講師等をサポートし、教員としての資質向上をめざす

- ◆ 自分をアピールする文章の書き方
- ◆ 情報教育の最新事情
- ◆ 自分をアピールする話し方 など



カリセンの 3つ の機能

コンサルティング

- 経験豊富なコンサルタントが常駐
- 様々な講座を開催

ワーキングスペース

- スペースの用意
- パソコンなどの機器貸し出し
- 大判カラープリンタやDVD複製機
- 平日 2 1 時まで
土曜日は 9 時から 1 7 時まで



コンテンツ

- 図書や雑誌が充実
- 学習指導案
- DVD教材の充実
- コンテンツの貸し出し



発行 伊丹市立総合教育センター

月～金 9:00～21:00 所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482
土 9:00～17:00

休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>